



●開放的な空間の演出は「ソラマド」の家の得意とするところ。家族がいつでも一緒に、そしてゆったり寛げるLDK。



●長男の陽太くんがのびのびと遊ぶ広いロフト。



●圧迫感を感じさせない手摺の採用で、よりのびやかな空間に。



●洗練された設えに、「まるでカフェのよう」と賞賛されることも。

また、LDKの上にはロフトを設け、ここはお子さん2人の部屋に。壁で仕切らず、用途に応じてカーテンを開閉させるだけというこの開放的な空間は、家族の気配が互いに感じられるという利点があります。奥様も「特にキッチンが気に入ってます。ここにいればリビングやロフトで遊んでいる子どもの様子が分かるので、安心です」ととても満足している様子。「ソラマドの家に出合えて良かった。実は引越した日に二男が生まれたんですが、飛空（とあ）と名付けたんですよ。やっぱり縁があったんでしょうね」と、とても幸せそうなご様子。葛城さん一家です。

て変化させていく。家族とともに成長し、いつの時代にあっても、自分たちにちょうどいい住まいになるよう実現させるのが、この「ソラマド」の魅力なのです。

まいを建てることができます。葛城邸の場合はかなり土地が変形しているため、居住空間と駐車場の確保の両立が難しいかと思われましたが、「ソラマド」の建築家が見事にクリア。2台分の駐車スペースを確保するとともに、玄関へと誘う階段脇には広い収納まで実現させました。

漆喰や無垢材で仕上げた開放的な空間を家族で愉しむ

扉を開けると、光溢れる広い玄関に出迎えます。入って右手の壁面は、収納力抜群の大きな収納が。ここにまとめて収納することで、その他の居住スペースをより広く使うことができるようになっていきます。

そして家族が集うLDKは、床に杉の無垢材、壁には漆喰を使用するなど、自然素材に包まれた温かみの感じられる空間に仕上げられています。大きなダイニングテーブルやキッチンの収納棚などは作り付け。葛城邸の内装に合った家具が、オーダーメイドで取り付けられています。キッチンには、ミール社の4ツ口IHコンロと食器洗い洗浄機を採用。

機能的で美しいこのキッチンは、葛城邸を訪れる人々の羨望の的になっているのだとか。さらに、テーブルに座る家族やお客様と視線が合うように、キッチン部分の床には約17cmの段差が設けられました。このような隅々まで行き渡る細やかな配慮が、日々の暮らしの心地良さにつながっているのです。



Example Report

大分市 葛城邸
●木造軸組工法
(株)リビングデザイン

■企業DATA
●所在地 / 大分市東大道3丁目5番27号 〒870-0823
●建設業者許可番号 / 大分県知事許可(般-21)第12197号
●設立 / 平成16年7月 ●資本金 / 300万円
●HPアドレス / http://www.soramado.com

問合せ先 ☎(097)546-4358

実例レポート

青空を生活に取り入れた新しい住まいのカタチ『ソラマド』。

■建築DATA
●家族構成 / 大人2人+子ども2人
●敷地面積 / 176.51㎡ (53.49坪)
●延床面積 / 106.82㎡ (32.37坪)
●予算 / 1,900万円～



●見上げれば、季節の移ろいを感じられる空が。



●雨の日には子どもの遊び場にもなる広い玄関。



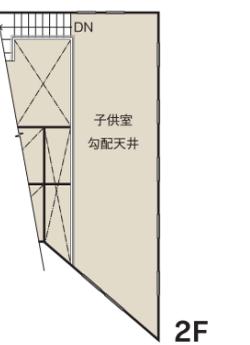
●片流れの屋根と、採光や通風のために最小限設けられた窓を持つ個性的な外観の葛城邸。



●葛城さんご一家。



1F



2F

柔軟な発想と対応で
個性的で快適な住まいを実現

様々なスタイルの瀟洒な住まいが建ち並ぶ住宅地の中に、さらにひときわ人目を惹くモダンな外観が。思わず足を止めて見入ってしまうほど魅力的なその住まいが、葛城邸です。職場に近く、文京区としても人気の高いこの土地に出合い、家を建てることを決心した葛城さんご夫婦でしたが、土地が変形しているため、当初予算内にマイホームを実現させることは思った以上に困難を極めたのだとか。「せっかくなかに入った場所に土地を見つけたのに、変形を理由に、なかなか納得いく家を建てられなくて。そんな時にこの『ソラマド』の家に会ったんです。思い切って相談してみたら、この形状をうまく利用して建ててくれると。本当にうれしかったですね」とご主人。

「ソラマド」とは、建築家・井内清志氏&アトリエSORAが提案する新しい暮らしのカタチ。商品名ではなく、いわばコンセプトの総称です。居住空間の仕切りをできる限りなくし、家族のライフスタイルに合わせ



●ウッドデッキを横切り、玄関へと誘うアプローチ。



●極限までシンプルな美しさを追求した外観。外壁は火山灰から造られた“そとん壁”仕上げ。

大分に初めてソラマドの体験型モデルハウスができました 「ソラマドの家」モデルハウス誕生。

「ソラマドの家」は 建築家 井内 清志が提案する新しい暮らしのカタチ

いろいろな家でいろいろな暮らしがあるけれど、長く付き合える家がいい。

手がかかる家もあれば、手がかからない家もある。

だれが住んでもかまわないが、その家が愛されることが幸せを呼ぶ。

家という器は、その中にあるものを育て、美しく見せる。そして、心地よくさせてくれる。

しかし、居心地は常に一定しているわけではなく変化しつづけていく。

私たちは、器の中身である間取りを自分たちの暮らしに合わせて、

進化させていこうという考え方にに基づきご提案しています。

井内 清志



建築家 井内 清志

1958年 岡山県生まれ。
1998年 関西電力設計コンテスト優秀賞。
2000年 アメリカンウッドアワード2000、JUKEN住宅コンテスト最優秀賞(佐伯新和氏と共同)。
2009年 グッドデザイン賞受賞(HABITA SORAMADOモデル)



●まるでカフェのような雰囲気のキッチン。見せるキッチンと収納を意識し、スタイリッシュに仕上げている。



●無垢材や漆喰などの自然素材を多く使用し、寛げる空間に仕上げたLDK。

真に「自分達らしい“住まい”を実現させる『ソラマド』

マイホームの夢を実現させようとする時は、誰もが「自分達らしい“住まい”を望んでいるはず。でも、「自分達らしい」って、具体的にどんな家だろう？そう感じている人は、多いのではないだろうか。

「ソラマド」の家は、自分達の家族に一番ふさわしいカタチを実現したいと願う、1つの家族から生まれました。居住空間の間仕切りをできる限り排除し、家族のコミュニケーションスペースの一部には、上部を大きく開口して、“空”を招き入れる。そして、外界からプライバシーを確保するため、壁の高さや窓の位置や数を工夫。そんな既成概念にとらわれない自由な発想のもと、「建築家井内清志&アトリエSORA」と一緒につくり上げるのが、この「ソラマド」の住まいなのです。

「こんな家が欲しかった」という多くの人々の声が寄せられる「ソラマド」のモデルハウスが、大分市内にもオープン。プライバシーに配慮された設計のため、外観は極めてシンプル。しかし、室内へ足を踏み入れると、一転して開放的な空間が温かく迎えてくれます。床は杉の無垢材、そして壁には漆喰が使用されるなど、素材にもこだわりが。また、家具は作り付けのものも含めて「広松木工」でオーダーすることも可能なので、コーディネート対策も万全です。

そして特筆すべきは、内と外とを結ぶ広いウッドデッキ。「ソラマド」では、この空間をプライバシーに配慮したカタチで設計するため、家族や友人達で存分に楽しめるスペースとして活躍させることができます。

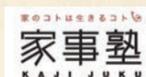
また、間仕切りのない居住空間は、可動式の家具で仕切ることができるため、ライフサイクルに応じた使い方ができると好評です。

「ソラマド」は全てが注文住宅。価格は約1500万円台からと子育て

家事セラピストがアドバイス!



ソラマドでは辰巳 渚(家事塾)が認定した家事セラピストと一緒に新しい家づくりを提案しています。



● 家事塾とは
辰巳 渚が掲げる家のコトは生きるコトをテーマに、「暮らし」を学び、「理想の暮らし」を実現するための生活哲学を学ぶ活動です。

○ 辰巳 渚氏 プロフィール
「捨てる」技術で物あまりの時代の新しい生活哲学を提唱。物質的に豊かな世の中で、どうしたら楽しく豊かに生きていけるかを提言しつづけています。2009年秋より「家事塾」を開催。



●辰巳 渚氏。

より豊かな暮らしのために
価値を整えることの大切さ

著書「捨てる！技術」(宝島社新書)が大ベストセラーとなり、一躍有名になった辰巳渚氏。現在は「家事塾」を主宰し、家事の楽しさを伝える様々な講座を開催したり、家事の専門家「家事セラピスト」を養成しています。

「家づくりは、家族の暮らしを見つめ直す絶好の機会。この節目に自分達の価値観を整える作業をすることで、暮らしがより豊かになりますよ」と、辰巳氏。「ソラマド」では、「家事塾」の生活哲学を取り入れた家づくりを推奨。大分ですすでに「家事セラピスト」も誕生しており、家づくりにも最適なアドバイスが受けられます。

て世代でも実現可能な価格帯に設定されています。さらに、「ワクワク楽しみながらの家づくり」をモットーにし、施主家族の積極的な参加を応援。壁の漆喰塗りなど思い出に残る家づくりを実践しています。また、暮らしに関する様々なイベントやセミナーも随時開催。既成のものではイヤだ、だけど具体的にどんな家が自分達にとって良いのか分からない等お悩みの方は、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。